



第 85 号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 岩崎 貞夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp



ご 挨拶

一般財団法人福井県剣道連盟

会長 岩崎 貞夫

平成二十七年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年春、本県剣道界にとって、うれしいニュースが飛び込んでまいりました。五月二日の京都市での剣道八段審査会において、福井県警の堀江範雄先生と川野学先生が、見事八段に合格されました。実に、本県の八段合格者は十三年ぶりで、しかも、合格率0・8%の超難関の厳しい審査会で、本県から同時に二人が合格するという快挙は、全国の剣道界でも話題となりました。これは、ひとえにお二人のこれまでのご努力の賜物であり、平成三十年の福井国体に向けて、当連盟会員の方々にとって、大いに励みになることと思えます。両先生の今後ますますのご活躍

をご祈念申し上げます。

いよいよ三年後の平成三十年に開催する「福井しあわせ元気国体」については、昨年十二月の福井県議会において、福井県体育協会会長を務める西川一誠知事が「ぜひ優勝を目指したい」と述べ、初めて明確な目標を表明しました。

当連盟においても、昨年、副会長を四名から六名体制、常務理事を二名から三名体制に増員するとともに、運営組織を四部会八委員会から八部会四委員会に改編増員し、福井国体に向けた体制の強化を図ったところです。

選手強化については、当連盟スーパーアドバイザーの佐藤成明先生、少年強化コーチの高橋俊昭先生、少

年強化コーチの神崎浩先生のご指導の下、強化・選考部会の委員の方々が中心となり、精力的に競技力の向上を図っています。

また、福井国体に必要となる資金の確保のため、平成二十五年度から「特別協力資金」として当連盟会員の皆様にご支援をいただいているところですが、目標額の達成に向け、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年の長崎国体剣道競技では、開催県の長崎県が成年男子・女子、少年男子・女子の四種別すべてで優勝を遂げており、「チームふくい」における剣道競技に対する期待も高まっています。当連盟としても、福井国体に向けた選手強化を一層充実させるとともに、大会の運営準備を着実に進める所存です。五十年ぶりとなる地元での国体開催に向けたこれらの取組みにより、培われる経験や人材などの貴重な財産を、さらに将来へ継承・発展させていくことが、最も大切だと考えています。

今後も当連盟の活動に対し、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が、皆様にとって健康で活気に溢れ、実り多い一年になりますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

西川 讓先生 県体協体育功労者賞を 受賞

平成二十六年年度の「公益財団法人福井県体育協会 体育功労者賞」に、県内二十団体二十四名の方が選ばれました。福井県剣道連盟からは、常務理事の西川讓先生が受賞され、九月二十三日の福井県剣道大会開会式において、伝達表彰式が行われました。



9/23伝達表彰式賞状授与

大会報告行事報告

第32回全国道場対抗剣道大会
福井県予選会

平成二十六年七月五日(土)
於 敦賀市武道館

最優秀賞

鯖江志土樹館道場

監督 塚田 直人

先鋒 中村翔太郎

次鋒 上村 哲平

中堅 森川 竜磨

副将 中村 智

大将 塚田 直人



優秀賞

福井養正館

監督 堤腰 昭

先鋒 南元 優那

次鋒 遊津孝太郎

中堅 志賀 涼

優良賞

敦賀市剣道スポーツ少年団

監督 奥井 俊雄

先鋒 箕山 敦也

次鋒 市原 稜大

中堅 岸本 龍二

副将 村井 達弥

大将 向井 俊博

副将 崎元 雄紀
大将 堤腰 一昭

居合道講習会開催される

平成二十六年七月六日(日)
於 福井県立武道館

石川県剣道連盟から講師をお招きして、居合道の講習会が開催されました。午前九時から開講式があり、県剣連中西副会長の挨拶に続いて、講師が紹介されました。今回の講師は、教士八段中村正人先生、教士七段松原剛先生です。福井県剣連から

一級から七段までの十八名が受講しました。

全日本剣道連盟居合十二本を三本ずつ区切って、中村先生の解説に合わせて、松原先生が演武を行い、その後二グループに分かれて実技指導を受ける手順で進められました。昼食時間を挟んで午後三時まで十二本までの指導を受け、最後に段別に三グループに分かれ指定技七本を演武して講習会を修了しました。

なお、八月三日に石川県立武道館で、居合道講習会と昇段審査会が行われ、福井県剣連からも参加し次の三名が合格しました。

居合道五段

堀川 旨明(丹生地区剣連)

居合道四段

齋藤 佳男(鯖江地区剣連)

居合道初段

山本なつみ(越前市剣連)



講習会の様子



開講式で中西副会長の挨拶



解説 中村・演武 松原の両先生

第48回少年剣道錬成大会

平成二十六年七月十三日(日)
於 福井県立武道館

団体戦(男子の部)

優勝 鯖江志土樹館道場

第二位 福井養正館

第三位 木田剣道スポーツ少年団

第三位 豊剣道教室

団体戦(女子の部)

優勝 向笠剣道スポーツ少年団

第二位 福井養正館

第三位 敦賀市剣道スポーツ少年団

第三位 今庄剣道スポーツ少年団



- 個人戦
4年生以下
- 優 勝 崎元 蓮太 (福井養正館)
第二位 柏崎 雅己 (鯖江志土樹館道場)
第三位 金森 貴陽 (福井少年剣道クラブ)
森 陽輝 (鯖江剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 米澤 涼雅 (敦賀市剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 西山 幸佑 (鯖江志土樹館道場)
敢闘賞 山本 凌大 (武道学園剣道教室)
敢闘賞 佐藤隆太郎 (木田剣道スポーツ少年団)
5年生以上
優 勝 奥村 龍也 (福井養正館)



- 第二位 山本 空羽 (越前少年剣道クラブ)
第三位 大和 泰雅 (福井養正館)
第三位 徳橋 知輝 (木田剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 山本 悠輔 (丸岡剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 植村 啓吾 (木田剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 南元 優那 (向笠剣道スポーツ少年団)
敢闘賞 東 勇人 (福井東部少年剣道教室)

第6回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

平成二十六年七月十九日(土) 於 日本武道館
本武道館にて標記の大会が開催された。今大会より「女子剣士による女子剣士のための女子剣道大会」と銘打たれ、審判員は審判長・審判主任以外、全員女性で構成された。
本県チームは、柳原潤一郎先生を監督とし、先鋒に坂本菜子(美方高校三年)、次鋒に北川藍(福井工業大学四年)、中堅に山田聖子、副将に森宜子、大将に道内由佳里のメンバーで臨んだ。一戦目は、第4試合場の第8試合で京都との対戦となっ

た。京都は徳島との初戦を2対1で競り勝ち2回戦へと進んできた。

先鋒戦、久御山高校三年の吉村選手に対し、坂本が接近戦からの鋭い面を先取し時間内を守り切った。次鋒戦、北川はこの波に乗って行けるかと思いきや、試合巧者の東海大四年岡田選手に小手と面を連取された。中堅の山田に逆転を期待するも、一瞬居ついたところで突きを決められ1本負け。副将の森は、何とか1本を取り返そうと序盤から果敢に攻めるも旗の上がる技が出ず引き分け。

大将の道内は2本取れば代表戦に持ち込める状況であったが互いに惜しい技もなく引き分けに終わり、結果2対1の敗戦となった。

チームとして、高校生坂本の一心不乱の頑張りに応えられなかったことが非常に悔やまれる。今大会は、本県代表選手としての意地を強く持ち、上手く表現しなければならぬと深く反省した。この反省を今後の福井国体に向けての強化活動に活かしていきたい。

福井	1 / 1	3 / 2	京都
先鋒	坂本	○	吉村
次鋒	北川	—	岡田
中堅	山田	—	長澤
副将	森	引き分け	池田
大将	道内	引き分け	橋本

14県民スポーツ祭 高校生の部

平成二十六年七月十九日(土)
於 福井県立武道館

- 男子団体の部
優 勝 啓新高等学校 A
準優勝 高志高等学校 A
第三位 北陸高等学校 A
第三位 敦賀気比高等学校 A

- 女子団体の部
優 勝 敦賀高等学校
準優勝 北陸高等学校 B
第三位 福井工業大学付属福井高等学校 B
第三位 福井工業大学付属福井高等学校 A



男子優秀選手

- 啓新高等学校 村上 巧
女子優秀選手
福井工業大学付属 福井高等学校 飯塚 麻貴



第52回福井県中学校夏季総合 競技大会兼、14県民スポーツ 中学生の部

平成二十六年七月二十三日・二十四日

於 福井県立武道館

男子団体

優勝 鯖江中学校

*第44回全国中学校剣道大会出場

第二位 中央中学校

第三位 明道中学校

第三位 丸岡中学校

女子団体

優勝 三方中学校

*第44回全国中学校剣道大会出場

第二位 中央中学校

第三位 坂井中学校

第三位 鯖江中学校



全学年男子

優勝 上村 哲平(中央中)

第二位 京藤 尚輝(武生第一中)

第三位 早川 惠理(明道中)

第三位 前田 凱斗(鯖江中)

二学年男子個人

優勝 細田 和寛(明倫中)

第二位 佐藤 翔馬(角鹿中)

第三位 杉本新太郎(小浜中)

第三位 山北 裕貴(明倫中)



一学年男子個人

優勝 田崎 健斗(松陵中)

第二位 中村龍之介(中央中)

第三位 中村 拓未(武生六中)

第三位 五十嵐拓哉(足羽第一中)

全学年女子

優勝 加藤菜摘子(中央中)

第二位 堤腰 琴菜(松陵中)

第三位 山川 咲愛(松陵中)

第三位 池田二千花(三方中)

二学年女子個人

優勝 小玉 藍(至民中)

第二位 小堀 妃奈(足羽第一中)

第三位 妙珍 加奈(武生三中)

第三位 川島 明美(三方中)

一学年女子個人

優勝 松井 実唯(松陵中)

第二位 高村 怜那(成和中)

第三位 宮崎 史央(成和中)

第三位 谷田 和奏(森田中)



平成26年度全日本少女 武道錬成大会(剣道)

平成26年度全日本少女 武道錬成大会(剣道)

平成二十六年七月二十六・二十七日

於 日本武道館

七月二十六、二十七日に平成二十六年度全日本少女武道錬成大会(剣道)が日本武道館において開催されました。

Aチームは初戦、兵庫県 成文剣友会と試合をしました。第一試合目、少し緊張の中開始となりました。最初の基本判定試合では3-2と勝ちこのままの勢いで1本勝負試合に挑んだが、4-0で負け初戦敗退。

Bチームは、東京 日本橋剣友会と試合をしました。基本判定試合で

3-2で負け、1本勝負試合で3-0で負けてしまい、こちらも初戦敗退となりました。

この大会に参加するにあたり、毎日基本判定の稽古をしてきました。稽古の時には全く上手く出来ず心配していたのですが、子供たちは本番に強く気合も入っていて良く出来ました。1本勝負の試合は、他の県に比べると1本に対する執着心が欠けていて自分のもっているものが出せないまま終わってしまいました。今回参加して、子供たちも私も沢山勉強になりました。これからの稽古に生かして頑張ります。



丸岡剣道スポーツ少年団A

監督 安原 真紀

先鋒 遠藤 慶人 (六年)

次鋒 西村 健志 (六年)

中堅 海道 慶介 (六年)

副将 高桑 駿人 (六年)

大将 山本 悠輔 (六年)

丸岡剣道スポーツ少年団B

監督 元矢 隼人

先鋒 藤田ゆめ花 (六年)

次鋒 (棄権)

中堅 朝田 悠 (六年)

副将 元井 涼介 (六年)

大将 高倉 陸 (六年)

丸岡剣道スポーツ少年団 安原真紀

14 県民スポーツ祭

市町対抗の部

平成二十六年八月三日(日)

於 福井県立武道館

成年男子の部

優勝 鯖江市A

準優勝 福井市C

第三位 若狭町A

第三位 福井市A

成年女子の部

優勝 福井市A

準優勝 越前市A

第三位 坂井市A



第三位 南越前町B

壮年男子の部

優勝 越前市A

準優勝 敦賀市A

第三位 鯖江市A

第三位 福井市A

壮年女子の部

優勝 福井市A

(5年連続)

準優勝 坂井市

第三位 鯖江市

第三位 福井市B

熟年男子の部

優勝 南越前町A

(2年連続)

準優勝 あわら市

第三位 越前市A

第三位 越前市B



第61回全国高等学校剣道大会

平成二十六年八月一日〜四日

於 小田原市総合文化体育館・小田原アリーナ

男子団体 予選リーグGブロック

敦賀(福井) 2-3 鹿児島商(鹿児島)

小荒 Δ | ○メメ上野

馬淵(稜)○ココ | Δ 竹之下

河原 ○メ | Δ 中森

小河 Δ | ○メメ古川

馬淵(貴) Δ | ○ド 横山

敦賀(福井) 1-2 湯本(福島)

志賀 Δ | Δ 本田

馬淵(稜) Δ | ○メ 樋口

河原 Δメ | Δメ 松崎

小河 Δ | ○コ 菅原

馬淵(貴)○メ | Δ 赤津

予選3位敗退

女子団体 予選リーグGブロック

敦賀(福井) 1-2 横浜商大高(神奈川)

木村 Δ | ○メ 堀江

鈴木(里) Δ | ○メ 水上

光原 ○コ | 村田

桃井 Δ | Δ 内山

鈴木(香) Δ | Δ 立花

敦賀(福井) 1-3 宮崎日大(宮崎)

木村 Δ | ○ド 篠原

鈴木(里) Δ | ○コ 神宮

光原 Δ | ○コ 堀之内

桃井 Δ | Δ 川原

鈴木(香)○メ | Δ 藤岡

予選3位敗退

男子個人

2回戦

小河 夢大(敦賀) |

○野間 武(東海大仰星)

1回戦

岡田悠貴彦(高志) |

○池西 優(明德義塾)

女子個人

2回戦

坂本 菜子(美方) | ○

落合 空(久御山)

3回戦

坂本 菜子(美方) |

○竹中 美帆(島原)

1回戦

鈴木香菜子(敦賀) | ○

藤岡 美紀(宮崎日大)

2回戦

鈴木香菜子(敦賀) |

○戸井ひなた(小山)

第35回北信越中学校剣道大会

平成二十六年八月六日(水)

於 新潟県小千谷市総合体育館

平成二十六年八月六日(水)に、

新潟県小千谷市総合体育館において

第35回北信越中学校総合競技大会剣道競技が行われました。結果は以下の通りです。

男子団体

予選Aリーグ

中央△ 1-2 ○小針(新潟)

中央△ 1-3 ○松代(長野)

中央○ 3-0 △奥田(富山)

予選3位敗退

予選Bリーグ

鯖江□ 0-0 □城南(石川)

鯖江○ 1-0 △丘(長野)

鯖江○ 4-0 △本丸(新潟)

予選1位通過

予選Dリーグ

明道○ 2-1 △津幡(石川)

明道○ 2-0 △魚津東部(富山)

明道□ 0-0 □白根第一(新潟)

予選1位通過

決勝トーナメント1回戦(準々決勝)

鯖江△ 1-3 ○魚津東部(富山)

明道△ 0-3 ○松代(長野)

優勝 小針中(新潟)

次勝 柳町中(長野)

ベスト8 鯖江中、明道中

女子団体

予選Bリーグ

中央△ 0-1 ○羽咋(石川)

中央△ 1-1 ○山室(富山)

中央○ 1-0 △燕吉田(新潟)

予選3位敗退

予選Cリーグ

坂井△ 1-3 ○庄川(富山)

坂井△ 1-2 ○塩尻西部(長野)

坂井△ 0-5 ○下田(新潟)

予選4位敗退

予選Dリーグ

三方△ 1-2 ○松代(長野)

三方○ 2-0 △森本(石川)

三方○ 4-1 △中之島(新潟)

予選2位通過

決勝トーナメント1回戦(準々決勝)

三方△ 0-4 ○燕(新潟)

優勝 燕中(新潟)

次勝 羽咋中(石川)

ベスト8 三方

男子個人戦

1回戦

京藤(武生第二)△

大橋(明倫)△

早川(明道)△

前田(鯖江)○

上村周(中央)○

上村哲(中央)○

△今泉(伊那東部)長

△橋爪(伊那)長

△吉川(小針)新

△奥村(奥田)富

△大森(中能登)石

△石附(石山)新

2回戦

前田△

△四郎丸(森本)石

上村周○

△須田(白根第一)新

上村哲△

△澤田(山室)富

3回戦

上村周○

△澤田(山室)富

準決勝

上村周△

△四郎丸(森本)石

優勝

四郎丸将己(森本)石川

第二位 山本 悠真(速星)富山

第三位 上村 周平(中央)福井

第三位 熊倉 正勝(小池)新潟

女子個人戦

1回戦

加藤(中央)○

△藤田(燕吉田)新

笠嶋(明倫)△

△山本(羽咋)石

池田(三方)○

△廣島(庄川)富

堤腰(松陵)△

△池上(松代)長

小辻(藤島)△

反○古畑(川中島)長

山川(松陵)○

△倉橋(下田)新

2回戦

加藤(中央)○

△塚田(松代)長

池田(三方)△

△小川(燕)新

山川(松陵)△

△中(星陵)石

3回戦

加藤(中央)△

△近藤(燕)新

優勝

小川梨々香(燕)新潟

第二位

相場 葵(燕)新潟

第三位

近藤 智穂(燕)新潟

第三位

土田 由貴(燕)新潟

第五位

加藤菜摘子(中央)福井

第56回全国教職員剣道大会

平成二十六年八月十日 於 香川市総合体育館



個人戦

女子の部

山田 聖子(福井高校)

●一回戦 |メ 遠藤まどか(岐阜)

高・大・教委の部

松井 宏文(敦賀気比高校)

●一回戦 |ド 武田 直大(宮城)

幼・義務教育の部

中村 英紀(気比中学校)

●一回戦 |メコ 鶴飼 高章(愛知)

団体戦 2回戦進出

久保田広行(丹南高校)

西川 航平(中央中学校)

山田 英典(今庄中学校)

道内 博道(金津高校)

瀧口 正之(福大附属小学校)

○一回戦 福井 | 北海道

先鋒 久保田メ|メ 原

次鋒 西川 | 山口

中堅 山田 | 蓬田

副将 道内 メ| 森林

大将 瀧口 | 高井

●二回戦 福井 | 岡山

先鋒 久保田メ| 植月

次鋒 西川 | 内海

中堅 山田 |コド 佐々木

副将 道内 | 松本

大将 瀧口 メ|メ 原

第44回全国中学校剣道大会

平成二十六年八月十七日〜十九日

於 高知県民体育館

八月十七日〜十九日にかけて、高

知県民体育館において、第44回全国

中学校剣道大会が行われました。残

念ながら上位に進出することはでき

ませんでした。各自が力を発揮し

ていました。

男子個人

1回戦

京藤 尚輝(武生第二)△ |

下○藤元 拓海(麻里希：山口)

2回戦

上村 哲平(中央)△ |

ドメ○山口 新太(花巻：岩手)

優 勝 岩切 勇磨(勝浦：千葉)

第二位 杉田龍太郎(高森：熊本)

第三位 宇野 舜昨(日田東部：大分)

第三位 寒川 祥(龍雲：香川)

女子個人

1回戦

堤腰 琴菜(松陵)○コ |

△八重樫朋里(花巻：岩手)

加藤菜摘子(中央)○メ |

△元 長鈴(総社東：岡山)

2回戦

堤腰 琴菜(松陵)△ |

メ○門川 絢音(山内：神奈川)

加藤菜摘子(中央)△ |

メメ○羽生 遥(勝平：秋田)

優 勝 小川梨々香(燕：新潟)

第二位 山崎 里奈(大淀：宮崎)

第三位 井手璃々華(玄洋：福岡)

第三位 小堀 桃佳(神栖第二：茨城)

男子団体

予選

鯖江中△0/0 |

3/3高知中(高知)

北島 △ |コ○ 田村

藤田 △ |メ○ 木下

川崎 □ | | 永野

小嶋 △ |メ○ 川元

前田 □ | | 東野

鯖江中○4/4 |

1/1△花巻中(岩手)

北島 △ |コ○ 高橋

藤田 ○メ | | 田中

川崎 ○メ | | 照井

小嶋 ○メ | | 八重樫

前田 ○メ | | 山口

予選2位敗退

優 勝 潮田中学校(神奈川)

第二位 高知中学校(高知)

第三位 玄洋中学校(福岡)

第三位 久御山中学校(京都)

女子団体

予選

三方中△0/0 |

2/2埼中(福島)

田辺 □ | | 金澤

川島 □ | | 生方

久保 △ |メ○ 鈴木香

奥村 △ |コ○ 八幡

池田 □ | | 井坂

三方中○1/1 |

0/0△香芝中(奈良)

田辺 □ | | 片山

川島 □ | | 落合

久保田 □ | | 松本

奥村 ○ド | | 西浦

池田 □ | | 山本

予選2位敗退

優 勝 玄洋中学校(福岡)

第二位 城辺中学校(愛媛)

第三位 大須賀中学校(静岡)

第三位 大沼中学校(埼玉)

第35回北信越国民体育大会

平成二十六年八月二十四日(日)

於 石川県羽咋体育館

八月二十四日(日)に石川県羽

咋体育館において、第35回北信越国民

体育大会剣道競技が開催されました。

成年女子試合結果

本県成年女子は、初戦石川県を2

勝1敗で退けました。しかし、2試

合目に長野県に先鋒細川選手、中堅

山田選手が延長戦の末敗れるという

波乱があり、もう1敗もできないという崖っぷちに立たされました。3試合目新潟県には、先鋒細川選手と大将森選手が勝利し、最終戦に望みを繋ぎました。

最終戦までの各県チームの試合結果は、石川県、新潟県、長野県が2勝2敗で試合を終り、本県チームは最終戦で富山県に勝利すれば、本国体出場となる状況になりました。ここで、本県チームは、本来の力を遺憾なく発揮し3戦全勝で富山県に勝利し、3勝1敗のチーム成績で長崎国体出場を決めました。

成年女子チーム長崎国体出場おめでとうございます。道内由佳里監督、細川梨絵選手、山田聖子選手、森宜子選手の日頃からの努力に敬意を表します。

成年女子チームの長崎国体での入賞を期待しています。

- 優勝 福井県 3勝1敗
- 第二位 新潟県 2勝2敗 (勝者数7)
- 第三位 長野県 2勝2敗 (勝者数6 取得本数9)
- 第四位 石川県 2勝2敗 (勝者数6 取得本数7)
- 第五位 富山県 1勝3敗
- 福井 2/2 | 1/1 石川

先鋒	細川	メ	澤田
中堅	山田	メ	荒川
大将	森	メ	岩脇
福井	1/1	2/2	長野
先鋒	細川	メ	南島
中堅	山田	メ	須坂
大将	森	メ	澤田
福井	3/2	2/1	新潟
先鋒	細川	メ	五十嵐
中堅	山田	メ	反五十嵐
大将	森	メ	町田
福井	4/3	0/0	富山
先鋒	細川	メ	小木
中堅	山田	メ	島田
大将	森	メ	宇佐美



H26北信越国体成年女子

少年男子試合結果
少年男子は、1試合目の富山県に5対0で快勝し波に乗りました。2試合目も長野県に3対2で勝利、3

試合目は新潟県を4対1で撃破し、長崎国体出場かと思われましたが、最終戦で石川県に1対4で敗れ、勝者数差、取得本数差で1位新潟県、2位石川県という結果になりました。最終戦に選手が本国体出場を意識し、硬くなったことが悔やまれます。

- 優勝 新潟県 3勝1敗 (勝者数14)
- 第二位 石川県 3勝1敗 (勝者数13 取得本数14)
- 第三位 福井県 3勝1敗 (勝者数13 取得本数13)
- 第四位 長野県 1勝3敗
- 第五位 富山県 0勝4敗
- 福井 5/5 | 0/0 富山
- 先鋒 小川
- 次鋒 佐藤
- 中堅 村上
- 副将 岡田
- 大将 池田
- 石黒
- 柳瀬
- 五十嵐
- 早瀬
- 篠原
- 富山
- 福井 3/3 | 2/2 長野
- 先鋒 小川
- 次鋒 佐藤
- 中堅 村上
- 副将 岡田
- 大将 池田
- 宮本
- 石山
- 西澤
- 朝倉
- 小坂
- 富山
- 福井 4/4 | 1/1 新潟



H26北信越国体少年男子

少年女子試合結果
少年女子は、本年度北信越高校総体個人戦で、新潟商業高校の選手を5人破るという試合結果から長崎国体出場を期待されていましたが、2試合目の石川県に先鋒、次鋒、中堅が相次いで敗れたことが最後まで影響し、優勝した新潟県を3対2で破つたにもかかわらず本国体出場を逃してしまいました。1試合目富山県に

先鋒	小川	メ	早川
次鋒	佐藤	メ	松本
中堅	村上	メ	樋浦
副将	岡田	メ	皆川
大将	池田	メ	菊崎
福井	1/1	4/4	石川
先鋒	小川	メ	喜多
次鋒	佐藤	メ	奥村
中堅	村上	メ	高西
副将	岡田	メ	下池
大将	池田	メ	鍋谷

中堅	次鋒	先鋒	福井	大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	福井
鈴木	内山	光原	4 / 2	坂本	井上	鈴木	内山	光原	4 / 3
メ	メ	メ	3 / 3	メ	メ	メ	メ	メ	3 / 2
島田	高木	西村	石川	浅野	笠原	荒井	野口	若林	富山

第五位	第四位	第三位	第二位	優 勝
長野県	富山県	石川県	福井県	新潟県
0勝4敗	1勝3敗	3勝1敗	3勝1敗	3勝1敗
		(勝者数12)	(勝者数13)	(勝者数16)

勝利し、安心したのか2試合目石川県戦に気の抜けたような入り方をしたことが敗因と考えられます。

少年男女の強化については、高校委員会の先生方のご指導のおかげで、選手起用や強化対策が実を結びつつあることが実感された大会となりました。高校委員会の先生方に、心より感謝申し上げますとともに、平成三十年福井国体を目指して、なお一層ご尽力賜りますようお願いいたします。

第43回福井県少年少女剣道錬成武生大会

平成26年 8月24日(日) 於 越前市体育館

団体試合成績

- 優勝 鯖江志士樹館道場
- 第2位 王子保スポーツ少年団剣道部
- 第3位 福井養正館
- 第3位 福井東部少年剣道教室

男子個人試合成績表

	優 勝	次 勝	三 位	三 位
4年生以下 A	奥平 真央 丸岡剣少	三原 瑚白 織田剣少	北嶋 廉 木田剣少	吉田 來生 吉川ス少剣
4年生以下 B	崎元 蓮太 養正館	相馬 快成 織田剣少	廣瀬 健人 新風館	北野 舜祐 神明ス少剣
4年生以下 C	三船 胡太郎 五常館	松田 智樹 栗野剣教	小谷 啓輔 江守の里剣教	牧野 宏也 勝山剣教
4年生以下 D	中嶋 淳志 五常館	木下 翔次郎 きらやま剣教	坂下 空蒼 志士樹館	安原 響希 丸岡剣少
5年生 A	布目 侑大 神山剣少	肴倉 壮志 志士樹館	田中 稜大 鯖江剣少	松浦 尚誠 武道学園剣教
5年生 B	千万 真慧 みはま少剣ク	酒井 翔太 栗野剣教	真家 夢羽 神山剣少	川崎 聖涼 武道学園剣教
6年生 A	中村 俊貴 吉川ス少剣	河原 康太 向笠剣少	森本 泰奨 大野剣教	高地 大翔 五常館
6年生 B	八田 智貴 志士樹館	清水 陽飛 五常館	山田 将稀 武生南剣少	中西 晃暉 向笠剣少

女子個人試合成績表

4年生以下 A	永禎 泉希 金津少剣教	杉原 歩佳 志士樹館	山崎 真由 福井少剣ク	大島 光結 春江少剣教
4年生以下 B	大味 奈夕夏 春江少剣教	重永 花歩 福井少剣ク	鎌水 千紘 金津少剣教	上坂 菜摘 豊神館
5年生	梅原 陽乃 神山剣少	網田 恭子 南条剣少	安野 有香 福井東部剣教	谷崎 乃 南条剣少
6年生	川上 祐奈 上中剣少	小林 友 新風館	勝見 美春 今庄剣少	大下 真子 西部剣少

副将	大将	福井	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	福井	先鋒	次鋒	福井	副将	大将
井上	坂本	5 / 5	光原	内山	鈴木	井上	坂本	5 / 5	光原	内山	5 / 0	井上	坂本
メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ	メ
濱田	北江	脇坂	岩倉	近藤	新潟	寺島	中川	井出	宮澤	脇坂	長野	濱田	北江



H26北信越国体少年女子

中堅	副将	大将
鈴木	井上	坂本
メ	メ	メ
大野	植木	河田

第53回全日本女子 剣道選手権大会

平成二十六年九月七日(日) 於 兵庫県立武道館

今回で八度目の出場となり、いつの間にか周りを見れば、年下ばかりとなっていました。

今回の対戦者も前回と同じく、山口県代表、二十四歳の若手選手となりました。試合が始まり、相手の動きがよく見えていたので、焦らず自分の打てるところで勝負をかけようと考えていました。勝負がつかず延長に入り、しばらくたった時、私の足が止まったところで面をさわられ、危うくは一本になりそうな場面がありました。そこで少し焦りが出てしまい、打たせまいと思いついた面を合面で合わせたところ、お互い空中打突、だったものの、相手に旗が三本上がり、一回戦敗退となってしまいました。

やはり若手選手は、スピード、パワーがあり、無理にそこで勝負したことが敗退につながったのだと思います。

私も中堅クラスになり、スピードやパワーが落ちていく中、これからの剣道を改めて考えさせられた試合でした。

これからの目標として、まずは全

日本選手権十回出場を目指すことと、そして四年後の福井国体で選手として選ばれるように努力していくことです。そこで選手に選ばれた際は、中堅の中でも年上の方になる中、他県は三十代前半の選手が多いことを予想し、スピードやパワーだけでなく、技や精神面での強化を意識して稽古に励んでいきたいと思っております。

これからもご指導、ご鞭撻の方をよろしく願います。
記 山田 聖子

第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

平成二十六年九月十四日(日) 於 大阪市舞洲アリーナ

(小学生の部)
去る九月十四日(日) 大阪市舞洲アリーナにおいて、第九回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が開催され、本県から「小学生の部」及び「中学生の部」に出場した。

「小学生の部」においては、七月十九日(土) 福井県立武道館多目的において、第三次福井県選抜選手選考会を開催し、その結果、奥村龍也(福井養正館)、徳橋知輝(木田剣道)、大和泰雅(福井養正館)、南元優那(向笠剣道)、植村啓吾(木田剣道)

(五名の内、四名が五年生。) 以上の選手が、本大会に出場することとなった。

本大会に向けての目標は、各選手の技能力の向上及び精神面の強化を図ること



であった。他県の県選抜チームと数多くの試合稽古の出来る環境作りを行った。当初から継続して、鯖江志士樹館道場及び福井養正館の選手と一緒に稽古し、強靱な体力作りを始め、静岡県遠征等、短期間で昨年以上の約三十回にわたる稽古会を積み重ねてきた。弱音を吐く選手もなく、指導者、選手及び保護者が一丸となって、お互いを励まし合い、高い目標を目指して一所懸命稽古した結果、本大会において、二年連続のベスト十六に進出することが出来た。これもひとえに、堤腰一昭先生、塚田直人先生方を始め、選手を支えていただいた関係者の皆様方のご尽力によるものと、深く感謝申し上げる次第です。

試合結果については、次のとおりです。

予選リーグ

福井県	2	0	広島県
先 植村	×	児玉	
次 南元	ココ×	西坂	
中 大和	ドメ×	佐々木	
副 徳橋	×	空本	
大 奥村	コ ×	横山	
福井県	2	0	福島県
先 植村	コメ×	志賀	
次 南元	ココ×	渡邊	
中 大和	×	菅野	
副 徳橋	×	渡部	
大 奥村	×	菅野	
決勝リーグ			
福井県	1	2	滋賀県
先 植村	メ	メメ島崎	
次 南元	×	ドコ八木	
中 大和	×	内田	
副 徳橋	×	奥村	
大 奥村	コ ×	中村	

(中学生の部)

平成二十六年九月十四日(日)に大阪市の舞洲アリーナにおきまして、第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会が行われました。福井県代表チームは、中村英紀監督(気比中)のもと、中体連の選考基準に基づいて選ばれた5人の選手で挑みました。

先鋒は、2年連続で全中に出場し、粘り強い剣風の加藤菜摘子選手(中央中)、次鋒は2年生ながら多彩な技で相手を圧倒する堤腰琴菜選手(松陵中)、中堅は北信越大会で3位に輝き、力強い打ちが持ち味の上村周平選手(中央中)、副将は県大会の個人戦覇者で爆発力のある攻撃が持ち味の上村哲平選手(中央中)、そして、この4人をまとめる大将の重責を任されたのが、攻守のバランスに優れた前田凱斗選手(鯖江中)です。夏季大会終了後からこの大会に向けて、定期的に合同練習を行ったり、高校生の国体練習会に参加しながら、技術面・体力面の向上や戦術面の共通理解を図り、また、コミュニケーションを密にすることによってチーム力も高めてきました。

前日は、大阪市の住吉第一中学校で行われた錬成会に参加しました。近畿、九州、関東地区のチームと計6試合行い、3勝2敗1分という結果を残しました。今年度の2位になる神奈川県チームにも勝利するなど、内容的にも互角以上の戦いを見せ、他県の先生方からうれしい言葉をたくさんかけていただきました。我々指導者も福井県の中学生のレベルが年々上がっていることを確認することができ、当日に向けて自信を持つことができました。

当日は、予選リーグで、愛媛県と秋田県と対戦しました。愛媛県は、前年のこの大会で3位、今年の全中でも男女ともに上位入賞を果たしている強豪県であり、秋田県は来年度の全中開催県と言うことで強化に力を入れていく県です。しかし、精神面で互角に戦うことができれば十分に勝機はある、と考えていました。選手たちも物怖じすることなく、程よい緊張感の中でウォーミングアップを行い、心身ともに普段通りの準備ができていたように思いました。まず初戦は愛媛県との対戦でした。先鋒の加藤選手が果敢に攻め合い、惜しい打ちを繰り返しましたが、中盤で小手にいったところを面に乗られ、一本負けとなりました。ただ、審判の旗が小手1本、面に2本と分かれたことから非常に惜しい敗戦でした。次鋒の堤腰選手は大変落ち着いて集中していました。初太刀に素晴らしい面すり上げ面を決め、その後も終始試合のペースを握って一本勝ちを収めました。しかし、相手も百戦錬磨の相手です。ここから粘り強い試合運びで果敢に攻める福井県チームの攻撃を巧みにかわし、一瞬の隙を狙って鋭い打突を繰り返してきました。結果的には、中堅と大将が一本負けとなり、1-3で愛媛県に惜敗しました。内容的には互角

以上の戦いをするも、ここぞというところでの勝負強さが勝敗を分けたように思いました。

予選リーグ2試合目は秋田県との対戦でした。愛媛県との試合から気持ちを切り替えて臨むため、もう一度ウォーミングアップを行い、お互いの気持ちを伝え合うことでコミュニケーションを深め、気持ちを切り替えて臨みました。全員が「このままでは終わらない！」という強い気持ちを持ち、先鋒から大将までの5人全員が積極的な試合運びで、先をとって果敢に攻めました。先鋒が引き分けた後、次鋒が1本先行されたものの冷静に2本返し、その勢いをつないで、中堅から大将までの全員が勝利を収め、4-0で秋田県に大勝しました。この試合、福井県チームはスピードやパワーで相手を圧倒し、勝利を収めました。これは、これまでの福井県チームには見られな



かった試合運びだったように思いますが、幹のある剣道が身につけてきていることが実感できました。結果は、1勝1敗の予選リーグ2位で、今年も残念ながらあと一步というところで予選リーグ突破を逃しました。しかしながら、年々試合内容に成長が見られ、心技体ともに互角以上に戦うことができるようになってきました。「あと一步」という壁を乗り越えるべく、今後も指導者と生徒、保護者が一丸となつて福井県全体のレベルアップに努めたいと思います。お忙しい中、会場に足を運んでくださった皆様にご心よりお礼を申し上げますとともに、福井県チームの更なる成長に向けて、今後変わらぬご支援とご協力をお願いします。

中央中学校 澤田泰治

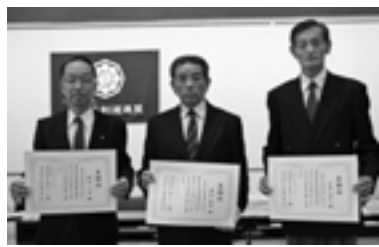
第62回福井県剣道大会

一般男女の部
平成二十六年九月二十三日(火・祝)
中学生の部
平成二十六年九月二十七日(土)

於 福井県立武道館
「第六十二回福井県剣道大会」は、九月二十三日に一般男女の部、九月二十七日に中学生の部が、県立武道館において開催されました。一般男女の部には、男子三十チー

ム、女子十七チーム 計二〇一名が参加、中学生の部には、参加校三十三校 男子五十二チーム、女子三十三チーム 計四一七人が参加し、熱戦を繰り広げました。

また、二十三日の開会式では、福井県剣道連盟の発展に功績のあった五名の個人に功労賞が、全国大会・ブロック大会において優秀な成績を収めた個人、団体に優秀選手賞が贈られました。



【功労賞】
柴田 忠弘 (坂井地区剣道連盟)
野崎 逸美 (南条地区剣道連盟)
西出 和男 (越前市剣道連盟)
吉田 淳夫 (三方地区剣道連盟)
酢谷 一司 (福井地区剣道連盟)

【優秀選手賞】
(第三十二回全日本女子学生剣道優勝大会 優勝)
伊藤 藍 子

(第三十五回北信越国民体育大会 成年女子の部 優勝)
森 宜 子
山田 聖 子
細川 梨 絵

(第五十六回北信越学生剣道優勝大会
女子団体の部 準優勝)

北川 藍
石井里奈
川合明日香
栗林由香
河野真由
久島早紀
木村優希
(第五十六回北信越学生剣道選手権大会
女子個人の部 準優勝)
河野真由

試合結果

○中学校男子の部
優勝 鯖江中学校Aチーム(鯖江市)
第二位 松陵中学校チーム(敦賀市)
第三位 中央中学校Aチーム(鯖江市)
○中学校女子の部
優勝 三方中学校Aチーム(若狭町)
第二位 松陵中学校Aチーム(敦賀市)
第三位 足羽第一中学校(福井市)
○一般男子の部
優勝 福井県警察本部機動隊
第二位 鯖江市剣道連盟A
第三位 福井刑務所
○一般女子の部
優勝 福井工業大学A
第二位 福井工業大学B
第三位 福井大学医学部A



居合道伝達講習会開催

平成二十六年九月二十八日(日)

於 越前市武道館

去る九月六〜七日に京都市武道センターにおいて、第四十一回居合道中央講習会が開催され、当剣連から玉村・角の二名が受講した。それを受けて伝達講習会が開催され、玉村と角が講師となり、受講者十三名は、午前九時から午後四時まで熱心に受講した。内容は次のとおりであった。

一、中央講習会の概要について
二、居合道演武の心構

解説書と中央講習会での講話より

説明

三、礼法

屋外・神殿内での礼法の説明と実技指導

四、全日本剣道連盟居合

一〜十二本目 解説と実技指導

五、居合道試合審判規則・細則

勝負判定のポイント

怪我した場合の

試合進行方法等

六、ビデオ撮影に

より各自の演武

をチェック



剣道指導法講習会

平成二十六年十月五日(日)

於 福井県立武道館

全日本剣道連盟後援の「剣道指導法講習会」は、講師に教士八段 東良美先生(愛知県警察剣道師範)をお迎えし、県内各地区から約五十名の指導者の方々が参加しました。

講義では、礼儀作法の大切さ、基本、形の重要性、指導者として子供たちに意欲を持たせる心構えについて伺いました。その後、面をつけての木刀による剣道基本技稽古法、応じ技の実技練習等のほか、六・七八段審査受審予定者による立会い稽古、地稽古と、東先生の熱心なご指導をいただき、参加者一同、充実した講習会となりました。

第9回福井県秋季新人競技大会

平成二十六年十月十七日(金)

於 敦賀市中郷体育館

結果は次の通り。

(団体の部)

男子団体準決勝

明道中 4 | 1 明倫中

鯖江中 2 | 0 武二中

男子決勝

明道中 3 | 1 鯖江中

女子団体準決勝	三方中	2	0	松岡中
松陵中	4	0	足羽一中	
女子決勝	三方中	3	1	松陵中

(個人の部)

全学年男子の部

優 勝	川崎	叶也	(鯖江中)
第二位	田崎	健斗	(松陵中)
第三位	北島	正貴	(鯖江中)
第三位	小嶋	耀介	(鯖江中)

全学年女子の部

優 勝	堤腰	琴菜	(松陵中)
第二位	山川	咲愛	(松陵中)
第三位	池田	二千花	(三方中)
第三位	田辺	有羽	(三方中)



1学年男子の部

優 勝	山本賢一朗	(成和中)
第二位	白崎 聖羅	(松岡中)
第三位	野村 駿	(清水中)
第三位	竹本 光希	(松岡中)

1学年女子の部

優 勝	谷田 和奏	(森田中)
第二位	川端 心愛	(今庄中)
第三位	松井 実唯	(松陵中)
第三位	藪腰 祐香	(森田中)



第69回国民体育大会

平成二十六年十月十九〜二十一日
 於 長崎県五島市中央体育館
 十月十九日(日)〜二十一日(火)
 に長崎県五島市中央体育館において、
 第69回国民体育大会(長崎がんばら
 んば国体)剣道競技が開催されまし
 た。本県チームの試合結果を掲載し
 ます。

成年女子試合結果

本県成年女子は、成年女子	1回戦
福井	0/0 3/2 東京
先鋒 細川	メコ 高橋
中堅 橋本	メ ツ 久木山
大将 森	鈴木

成年男子 1回戦

福井	3/1 7/3 佐賀
先鋒 金子	コメ 畑田
次鋒 前田	メメ 笹川
中堅 畑	メメ 原
副将 柳原	ココ 古賀
大将 西川	メ メ 佐藤

戦評

入賞が期待された成年女子は、北
 信越国体後に中堅山田聖子選手から
 橋本一美選手への選手交代がありま
 した。東京都との対戦では残念なが
 ら2対0で敗退しましたが、福井県
 ここにありという試合を展開しまし

た。先鋒の細川選手は、序盤には積
 極的な試合運びで、世界選手権代表
 候補の高橋選手を圧倒しましたが、
 中盤に飛び込み面を決められ、その
 後取り返しに行ったところに出端小
 手を決められ敗退しました。中堅橋
 本選手は、中盤に惜しい小手面があ
 りよく奮闘しましたが、終盤に手元
 が浮くところに強烈な突きを決めら
 れ一本負けしました。大将森選手は、
 勝負が決まった後で、相手大将鈴木
 選手が間合を取って、勝負に来ない
 こともあり引き分けとなりました。
 成年女子は、全国の各都道府県から
 マークされる実力を兼ね備えていま
 す。来年こそは岐阜国体の4位を上
 回る成績を期待したいと思います。

成年男子は、先鋒金子選手が気迫
 のこもった試合態度で、引き面と出
 端小手を連取して、幸先良い試合展
 開となりました。しかし、次鋒前田
 選手は、笹川選手の豪快な試合運び
 に圧倒され、飛び込み面と引き面を
 連取されてしまいました。中堅畑選
 手は、本国体で2年連続勝利してい
 ますので、活躍が期待されましたが、
 本来の実力を出すことが出来ずに面
 2本を取られ敗退しました。副将柳
 原選手は、得意の面に行こうとする
 ところに出端小手を2本打たれ敗退
 しました。大将西川は、面を先取さ
 れましたが、中盤に飛び込み面を決

第49回全日本居合道大会

平成二十六年十月二十五日(土)
於 福島県立あづま総合体育館
大会前日二十四日、武生駅から福

めて勝負となりましたが、時間切れで引き分けとなりました。成年男子は、あと一步のところまで来ています。今後、勝負にかける粘り強い精神力とどんな相手でも自分のペースで試合ができる対応力を鍛えていくことが必要であると感じました。

記 西川 謙



島駅までJRで約七時間、福島市に到着後直ちに選手三人は市郊外の会場で稽古、監督は監督会議に臨みました。大会本部役員、四十七都道府県の監督の出席の下、挨拶、大会運営説明、質疑応答等、緊張の中にも大会の成功を願う熱意が大いに感じられました。

震災から三年半、福島市内は元通りの平穏な市街に戻ったように見えました。会場の県営あづま体育館までは、タクシーで約三〇分ばかり、かなりの道のりでした。館内は広く試合場も十分なスペースがあり、運営委員も多数動員され、リハーサルを行っていました。サブ道場があり全国各地から参加した選手が、マイペースで最後の調整をしていました。大会は九時から主催者挨拶に始まり、高段者の居並ぶ役員席を目前にして、凜とした緊張感がみなぎり、全国大会ならではの雰囲気を感じました。また、震災に際して全国より多額の義援金とお見舞い激励を頂いたお礼として、JA県連から参加各県へ林檎をお土産に頂きました。最後に三谷審判長から、指定技三本が発表され大会の幕は切って落とされました。

試合に出場した本県選手は、各段とも初戦敗退という残念な結果でした。

五段の部

角 裕幸(越前市) 0-3

相馬良一(栃木)

六段の部

大嶋雅典(越前市) 0-3

横山幸子(愛媛)

七段の部

玉村伸治(越前市) 0-3

柴田勝己(大阪)

第二部として、個人演武があり、五段から範士八段までの約三〇〇名の剣士による演武を拝見出来ました。総括として、わが福井県居合道の今後の発展のためには、我々の稽古はもろろんの事、底辺拡大・愛好者の掘り起し・指導者の招聘等、課題があります。道は遠く厳しいとは思いますが、「来る日を目指して」平生の努力がもつともつと必要であると痛感しました。

報告者 監督 五段

福島一郎(丹生剣連)



地区連盟だより

第1回田村周山杯剣道交流大会

平成二十六年十月二十六日(日)

於 小浜市民体育館
主催 小浜市剣道連盟

本年度、小浜市剣道連盟創立六〇周年を記念し、連盟創立にあたり、多大なるご尽力を賜りました、田村周山先生に感謝の意を込め、記念大会を開催することとなりました。

県内をはじめ、近畿、東海、中京地区から強豪、小・中学生剣士が集い、交流大会が行われました。県内大会では数少ない、参加チームの七割が県外チームとあって、白熱した戦いを繰り広げました。福井県内チームも健闘し、小学生の部、福井養正館がベスト4、中学生男子の部、鯖江志士樹館道場が準優勝、中学女子の部、福井養正館がベスト8に輝きました。非常にレベルの高いチームとも堂々と渡り合えたことは、大きな糧となった事と思います。

最後に、県内各地から数多くの教室、先生方にご参加頂き有り難うございました。これからも魅力ある交流大会になるよう努力したいと思えます。また、次の百年に向けて更なる剣道の振興と、次世代人材の育成・発展のため精進して参りますので、

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

大会結果
小学生の部（94チーム）

優 勝：東レ居敬堂A（愛知県）

準優勝：京都久御山真武館A（京都府）

第三位：滋賀自求館道場A（滋賀県）

中学生男子の部（46チーム）

優 勝：枚方剣道協会A（大阪府）

準優勝：鯖江志土樹館道場A（福井県）

第三位：京都久御山真武館A（京都府）

中学生女子の部（34チーム）

優 勝：京都弘道館A（京都府）

準優勝：八幡西清流館道場（滋賀県）

第三位：東レ居敬堂A（愛知県）

（小浜市剣道連盟理事長 新谷勝利 記）



越前市民剣道祭

平成二十六年十一月十六日（日）

於 越前市武道館 剣道場

主催 越前市剣道連盟

越前市剣道連盟では十一月十六日、毎年恒例の市民剣道祭を開催しました。この剣道祭は昭和二十九年、当連盟発足の翌年に第一回が行われており、当連盟と共に六十年の歴史を重ね発展してきた由緒ある大会です。当日は教職員行事などと重なるなど運営上の困難もありましたが、二十五名の選手の参加があり無事開催することが出来ました。

午後一時より藤岡副会長の挨拶で開会されました。今年新しい企画として杖道の演武、居合道の模擬試合を取り入れ、剣道と表裏一体である居合道の重要さを知って頂く良い機会となりました。

剣道は抽選で三人ずつのチームを編成し、五チームのリーグ戦で優勝を掛けた熱戦が繰り広げられました。結果、三チームが三勝一敗で並ぶ接戦となりましたが、勝者数に勝る「FMT」チームが優勝しました。

杖道演武

鎌田真之（四段）―辻崎正則（初段）
全日本剣道連盟杖道制定形：五本
神道夢想流杖術……………三本

内田流短杖術……………二本

居合道試合

辻崎正則（三段）―楠 敬宣（三段）

剣道リーグ戦

優 勝 FMTチーム

辻 慎二郎（六段）

万 所 央（六段）

藤岡 文男（七段）

レポート 越前市剣連 玉村伸治

鯖江市剣道連盟

鯖江市剣道連盟は、昭和二十八年に前身として鯖江柔剣道振興会が発足。その後、県剣道連盟発足に伴い、振興会を解散し、剣道連盟鯖江支部として再発足しました。民間人の有志によって活動がすすめられました。中でも齋藤清治郎氏や戦後復員された朝井清泰氏が小中高校生や一般人に盛んに指導を行い、連盟を盛り上げてこられました。

現在は、田口五十二会長のもと、「連盟会員のまとまりが県一位」、「小中学生、一般の大会で県一位」、

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

「県代表選手の数が県一位」の三つを目標に掲げ活動しています。

主な事業としては、二月に鯖江市少年剣道大会、五月に三十六連隊史跡保存会協賛による少年剣道大会を開催。二月、五月、九月の年三回級位審査会を実施。稽古会は、毎週金曜日と第三火曜日に三六武道館にて、午後八時より実施しています。最近福井市、越前市、敦賀市の方が稽古に来られる日が増えてきています。さらに、今年度は田口会長を講師として審判講習会を五月に実施しました。多くの会員の方々の参加があり好評だったので来年度以降も会員の



杖道演武



居合道試合



剣道リーグ戦

交流をはかる新しい事業の実施を検討しています。今後とも三つの目標の実現に向けて、会員一同、さらに盛り上げていきたいと思えます。



立待スポーツ少年団剣道教室

立待スポーツ少年団剣道教室は、小学生17名、中学生1名、指導者8名で立待公民館において、月・水・金の週3回、一時間半程度稽古をしています。

練習内容は、基本を中心にあつて、面が打てるように指導し、小学校だけで無く、中学校、高校に行っても続けていけるように基本をしっかり身につけさせています。

立待の特徴としては、指導者が多いことです。地稽古のときには、子供たちはたくさん先生の懸かっているのので、とても良い稽古になります。指導者も真剣に子供たちの相手をし、一緒に汗を流しています。

子供たちには、困難なことや辛いことから逃げない強い気持ちを持つて欲しいです。また、一緒に練習している仲間を大切に、支えてくださっている方たちへの感謝を忘れない、これからの成長して欲しいと願っています。



森田中学校剣道部

森田中学校剣道部は、一、二年生で男子15名、女子11名の計26名で活動しています。部員の半分以上が中学校から剣道を始めた初心者ですが、経験者と日々の辛い稽古を共に乗り越えています。練習時間は、平日は約1時間30分程度行い、素振り、胴

打ち、切り返し、打ち込みなど、基本稽古を中心に取り組んでいます。土曜日は約2時間30分、実践的な内容も加えて稽古を行い、武道館での錬成会や遠征にも参加しています。7月に夏の大会も終わり三年生の先輩方が引退して、今は新人戦が残念な結果に終わったので次の大会に向けて稽古に励んでいます。夏休みから、体力の向上を目的に稽古内容がガラリと変わり、追い込みや打ち込みを中心とした厳しい稽古になりました。毎日の稽古は激しく辛いです。厳しい稽古を乗り切って、来年の夏の大会では男女とも県大会に出場できるように、一日一日の稽古を大切に、日々精進していきたいと思えます。

(女子主将 出口純奈)



小浜中学校剣道部

小浜中学校剣道部は、現在二年生6名、一年生4名で活動しています。中学校から剣道を始めた生徒も多く、基礎基本を大切に日々の稽古に励んでいます。本校は三年前に武道館が新築されました。恵まれた環境のもと、夏季平日は二時間程度、冬期平日は1時間半程度、休日には三時間程度の稽古を行っています。新チームになってからは足さばき、素振りなど基本の稽古中心でしたが、最近はずいぶん新しい技の練習も取り入れています。また、この秋には様々な錬成会・大会等に参加し、県内外の強豪チームと剣を交えることができました。まだまだ弱小チームです



が、多くの先生方、他校の仲間から
たくさんの方を学び、力を付けて
いきたいと思えます。

また「剣道即生活、生活即剣道」
をモットーに日頃の学校生活をきち
んと送っている、自分をごまかさ
ず自分にしっかり向き合える人にな
ろうと努めています。剣道の技だけ
でなく、人間としても大きく成長で
きるように、周りの方々への感謝の
気持ち忘れず、これからも日々の
稽古にひたむきに取り組んでいきま
す。

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

平成二十六年八月十日(日)

於 敦賀市中郷体育館

「初段」 五十六名

- 竹原功貴 (勝山中部中1年)
- 布谷優星 (三國中1年)
- 志尾陽章 (三國中1年)
- 田中瑛章 (勝山南部中1年)
- 高間健二 (武生六中1年)
- 田辺政伸 (三方中2年)
- 松本海斗 (三方中2年)
- 木村和生 (東陽中2年)
- 藤田大聖 (大東中2年)

- 辻海人 (三方中2年)
- 山崎裕貴 (上中中2年)
- 小泉裕哉 (小浜中2年)
- 黒坂昇汰 (春江中3年)
- 笠川和也 (東陽中3年)
- 田中雅訓 (美浜中3年)
- 梅村康平 (南越中3年)
- 多田智哉 (大東中3年)
- 重田淳志 (小浜二中3年)
- 渡邊誠也 (朝日中3年)
- 笹木航大 (武生一中3年)
- 松原宏 (角鹿中3年)
- 久保龍樹 (春江中3年)
- 吉村泰一 (小浜二中3年)
- 内田嵩登 (警 察 官)
- 小西翔真 (警 察 官)
- 堀内淳吾 (警 察 官)
- 仲道慶祐 (警 察 官)
- 高山卓也 (警 察 官)
- 馬場翔大 (警 察 官)
- 面谷耕佑 (警 察 官)
- 徳井大輔 (警 察 官)
- 石黒達也 (警 察 官)
- 河本達也 (警 察 官)
- 五井隆稔 (警 察 官)
- 柳原隆也 (警 察 官)
- 伊藤嘉朗 (警 察 官)
- 網島航朗 (警 察 官)
- 森島良太 (警 察 官)
- 漆島健志 (警 察 官)
- 宮本和憲 (警 察 官)
- 中川和也 (警 察 官)

「貳段」 十八名

- 小池修輔 (警 察 官)
- 西村心 (丸岡南中2年)
- 小林永遠 (明道中2年)
- 山川愛 (松陵中2年)
- 山川海 (森田中2年)
- 横川育楓 (丸岡南中2年)
- 長谷川楓 (美浜中2年)
- 山口愛加 (和泉中2年)
- 山口史佳 (中央中3年)
- 谷口佳 (朝日中3年)
- 片岡桃子 (朝日中3年)
- 鈴木美生 (朝日中3年)
- 春木咲嬉 (中央中3年)
- 嶋川真実 (朝日中3年)
- 松谷麻耶 (福井高2年)
- 河合菜摘 (警 察 官)
- 川島美紀 (警 察 官)
- 重盛友登 (鯖江中2年)
- 林凌雅 (丸岡南中2年)
- 川崎叶也 (鯖江中2年)
- 寺尾優 (小浜二中3年)
- 田中遥貴 (鯖江中3年)
- 篠山順 (武生一中3年)
- 吉田亮 (明道中3年)
- 西出正輝 (丸岡中3年)
- 山下優也 (武生六中3年)
- 畑中暁 (敦賀気比高3年)
- 岡田直也 (大原専門2年)
- 玉川竜太 (警 察 官)
- 窪田希 (敦賀気比高1年)
- 宮下紗希 (敦賀気比高2年)
- 宮本英加 (仁愛女子高3年)

「参段」 十一名

- 柿澤由美 (敦賀気比高3年)
- 川渕華綸 (福井高専5年)
- 加藤裕美 (警 察 官)

「五段」 二名

- 荒川兼汰 (北陸高2年)
- 渡辺真人 (美方高3年)
- 橋本和哉 (敦賀気比3年)
- 水野幸太 (敦賀気比3年)
- 植原恵希 (大阪学院大3年)
- 竹村和樹 (会 社 員)
- 真田康雄 (福井大5年)
- 小林将司 (会 社 員)
- 橋本一峰 (会 社 員)
- 宮内瑠菜 (北陸高3年)
- 土田真緒 (北陸高3年)

- 藤本努 (公務員)
- 植原陽子 (会 社 員)



ペンリレー

女性剣士の部屋



久保田 知恵子

はじめまして。敦賀の久保田です。
私は高校から初心者で剣道を始め、子育てのブランクが十三年ありましたが、十九年前に稽古を再開しました。

今思い返すとまた剣道をやってみたくなったのは、美方高校で小西先生と西川先生にご指導頂いたにもかかわらず、納得のいく結果をだせなかったからではないかと思えます。また、剣道が上手いわけでもなく、試合に強い選手でもなく、稽古も不真面目な無名の一女性剣士ですが、なぜか「剣道が大好き」なのです！

四人の息子たちにも剣道を無理やりやらせたり、きつと息子たちは「鬼のような母」だと思っていたと想像するのですが、社会人となった長男をはじめ大学生の四男まで今日まで前向きに稽古を続けています。

今では剣道を全くわからなかったお父さんも応援してくれ、家族みんながいろいろな形で剣道に携わり、剣道を好きになってくれました。「先鋒・四男」、「次鋒・三男」、「中堅・次男」、「副将・長男」、「大将・お父さん」、「ビデオ係・私」…で試合に出られたらきつと面白いだろうななんて…一人で想像して笑っています。

今日まで剣道が続けてきて思うことは、たくさん先生の方や仲間に出会いご指導頂いたことが、自分の心のなかの宝物であり道標であるということです。
そして今後の自分の役割は、たくさんの人に剣道を伝えることではないかと思っています。

今年でついに五十歳！剣道が続けながらもそろそろ「落ち着いたおしとやかな女性にならねば」と考えている今日この頃です。

それでは皆様、ごきげんようさようなら…

平成27年1月～3月 事業計画

期	日	曜日		場 所	開 催 者	備 考
1	4 18 24 25	日 日 土 日	剣道・居合道初稽古 福井県剣道大会(高校生)兼高校冬季選手権大会兼全国選抜大会予選会 県中学校剣道冬季強化大会 全国都道府県大会県選考会 北信越高校剣道新人大会 世界一剣道教室(強化事業)	県武道館 県武道館 敦賀市 県武道館 富山県 県武道館	県剣連 県高体連 県中体連 県剣連 北信越高体連 県剣連	14:00～(半日) 13:00～ 庄川体育センター 9:00～
2	8 15 22 22	日 日 日 日	第9回福井県ジュニア育成強化剣道大会 剣道段位審査会 国体指定選手選考会 居合道合同稽古会	県武道館 越前市・若狭町 県武道館 越前市	県剣連 県剣連 県剣連 県剣連	9:00～
3	15 22 22 27～28 27～29	日 日 日 金～土 金～日	理事会 評議員会 第7回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会・合同稽古会 第24回全国高校剣道選抜大会 第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会	県武道館 県武道館 県武道館 春日井市 埼玉県	県剣連 県剣連 県剣連 全剣連 全剣連	

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616